

# 金剛寶戒寺便り

八月一日発行 第五号

檀信徒の皆さんこんにちは。ついこの前お正月だと思っていたらもうお盆です。年が明けてからこの時期を迎えるのが年々早くなっている気が致します。

日本の行事お盆の起源は諸説ありますが、日本古来からある先祖を敬う風習と先月のお話にも出てきた安居(あんぐ)の最後の日、旧暦七月十五日を盂蘭盆と呼び父母や先祖の霊を供養し倒懸の苦から救うという(これは法事の時などに行う施餓鬼供養に由来する)供養が一つになった行事と考えられています。

供養とは「奉仕すること。もろもろの物を供えて回向すること」と仏教大事典にはあります。私は皆さま自身で直接行う供養ほど功德があると思っています。どうぞお盆のお墓参りなどは親御様だけでお参りするのではなく、日常を当たり前に過ごせる事への感謝の気持ちを持って、子供さんやお孫さんも連れ添ってお墓などへお参り下さい。

金剛宝戒寺では毎年、盆月の八月二十一日に千巻心経を行っております。一つの珠が握り拳ほどある大きなお念珠を皆さんで般若心経をあげながら繰り返します。終わった後は高揚感もあり気分もスッキリします。まだ般若心経をお唱え出来ない方も大丈夫ですので安心してご参加下さい。私の子供も参加させて頂いております。時間は夕方の五時からです。

(例年は七時からしていましたが、今年で気を付けて下さい)

そして千巻心経の後は十九時よりお寺の境内にて盆踊りを催します。盆踊りの前には略施餓鬼供養も行いますので、特に今年初盆を迎える方はお位牌を持って参加してください。きつと良いご供養になると思います。子供さん達にもお菓子などの粗供養(おみやげ)が用意されています。

月参りに伺っているお檀家様はご存知の事ですが、来年高野山はお大師さまが開きになって千二百年を迎えます。これまでもビーコンプラザでの声明演劇公演や石灯籠の奉納などを行ってきましたが、いよいよ来年は団体参拝をする運びとなりました。期日は平成二十七年四月二十一日(火曜日)から四月二十五日(土曜日)までの四泊五日(うち船中泊二日)です。少し期間が長いと思われるかもしれませんが、出発の日には十八時集合で二十五日は朝の八時には解散となります。

今回の団参は大分から二〇〇名、金剛宝戒寺からは三十五名の参加者を募っています。残り六名の枠がありますので、興味のある方ご縁のある方はお寺までご連絡下さい。もちろん私も参拝致します。参拝旅行代金は七万三千元(献香料、灌頂入壇料、観心寺等の拝観料込み)です。

今回の見所は高野山に上がる前に高野山とゆかりのある観心寺と丹生津都比売神社に参

拝いたします。そして柴燈護摩(火渡り)を行います。翌日は秘仏薬師如来がご開帳されている金堂にて法要、結縁灌頂を行い奥之院参拝の途中に石灯籠の拝観も予定されています。最終日は有馬温泉に宿泊をして大阪観光をして帰路となる予定です。

弘法大師様による御開創以来、真言の法燈は連綿と輝き檀信徒様の信仰篤く、平成十六年には紀伊山地の霊場と参詣道として世界文化遺産にも登録され、広く世界の仏都として知られるようになりました。今回は五十年に一度の大法要です。この千載一遇の勝縁を喜び、心から弘法大師の御遺徳を顕彰し、甚深の功德を積んで頂けましたら幸いです。

昨日は高野山で修行時代の友人の晋山(住職就任)祝いでした。今は帰りの新幹線の中でお便りを書いています。心許せる友人もお互い確実に年を重ね会話の内容も変わってきましたが、祖山を憂い自坊を思う気持ちは皆同じでした。大切にしたい仲間たちです。

九月は秋のお彼岸になります。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが秋の風が待ち遠しいです。お彼岸のお参りの確認は十日頃からお願ひ致します。今年は熱中症の被害も多くも聞きます。夜中に目が覚めるからといって水分補給を減らすことなく、こまめにお茶などを飲んでしっかりと食事を取り暑い夏を乗り切りましょう。